

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和7年11月 児湯農林振興局

(児湯農業改良普及センター)

目次

I	管内農業・農村の主な動き	(P 2)
	1) 児湯農業改良普及事業推進協議会の調査研修(視察)を実施【全域】	
	2) 宮崎県農業経営指導士会の地区合同研修が開催【全域】	
	3) 児湯地域認定農業者連絡協議会の視察研修が開催【全域】	
	4) 子牛セリ市【全域】	
	5) 西都市種子生産組合研修会の開催【西都市】	
II	主な普及指導活動等の取組	
	1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動	(P 3~5)
	1) 新規就農者担当者会議や巡回指導が開催【西都市、高鍋町、新富町、木城町、川南町】	
	2) 第3回就農計画作成研修会を開催【全域】	
	3) さといも品種「大和39」の現地検討会を開催【全域】	
	4) ホウレンソウの定点調査を実施【全域】	
	5) 児湯地区水田担い手ネットワーク研修会の開催【全域】	
	6) とうがらし栽培講習会【西米良村】	
	7) 鹿児島で茶の視察研修を実施【川南町】	
	8) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】	
	9) JAみやざき児湯地区Dプロピーマン現地検討会【新富町】	
	10) JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会出荷打合せ会に参加【川南町・都農町】	
	2 その他の普及活動	(P 6)
	1) 高鍋高校お茶入れ教室事前打ち合わせ【高鍋町】	
	2) 極長稈ソルガムを用いた獣害対策の収穫完了【西都市】	
	3) 尾鈴地区本部尾鈴稲作部会総会の開催【尾鈴地区】	
	4) 児湯地区営振協果樹部会視察研修【愛媛県】	
III	参考	(P 7)
	1 11月の気象(宮崎气象台:西都市)	

I 管内農業・農村の主な動き

1) 児湯農業改良普及事業推進協議会の調査研修(視察)を実施【全域】

5日に普及事業推進協議会幹事他関係者で、基盤整備後の土地利用営農に関する調査研修を鹿児島県で行いました。坂之上製茶では、飲料メーカーとの契約による規模拡大と有機への取組等について、(株)ゼロプラスと(農)夢ファーム大里では、加工業者との契約によるレタス栽培や集落営農の取組について先進事例を学びました。ゼロプラス代表が就農に当たって農地を確保する際に地元の指導農業士の後押しを受けた話など、農業参入や農地確保の難しさなども改めて感じました。この研修で得た知見が管内の農地維持につなげられることが期待されます。



【広がる12月収穫予定のレタス畑を前に説明を受ける】

2) 宮崎県農業経営指導士会の地区合同研修が開催【全域】

28日に中部、南那珂、児湯の指導士会の合同研修会が南那珂地区で開催されました。現地調査で指導士のほ場を2か所視察し、意見交換会では労働力確保に関する状況報告やマッチングアプリ等の活用について意見交換を行いました。南那珂地区以外の指導士の出席は遠方ということもあり少なめでしたが、地区を越えた交流もでき、皆さん満足されていたようです。

次年度は児湯地区での主催となります。



【意見交換会の様子】

3) 児湯地域認定農業者連絡協議会の視察研修が開催【全域】

25日に児湯地域認定農業者連絡協議会が視察研修を実施しました。日向市の(有)ecoloで機能性堆肥製造の取組について学び、延岡市の牧野恭広氏、川原博之氏からは、地域の農地を守る取組や、営農計画を立てることの大事さについてお話頂きました。参加された各市町村認定農業者協議会の役員の方々には、今後の認定農業者育成の一助となることが期待されます。



【スマート農業機械を見学する参加者】

4) 子牛セリ市【全域】

8、9日に子牛セリ市が開催されました。セリ市研修会では、寒さ対策について説明しました。2日間の平均価格は、雌で686千円、去勢で739千円、合計で714千円でした。

5) 西都市種子生産組合研修会の開催【西都市】

17日に西都市種子生産組合の研修会を行いました。種子生産組合の9割の方々が参加し、今年度の種子生産の状況や近年の高温における土づくりの重要性について、研修しました。

来年も高品質な種子が生産できるように支援していきます。



【会議の様子】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト(総合、専門)に関する普及活動

1) 新規就農者担当者会議や巡回指導が開催【西都市、高鍋町、新富町、木城町、川南町】

10日に木城町、14日に川南町の担当者会議、12日には西都市就農支援部会が開催され、それぞれ関係機関が参加し、就農相談の情報共有や就農予定者の研修状況、新規就農者の確保・育成の課題等の検討が行われました。また、12～13日にはJAみやざき児湯地区本部管内で、ピーマン・きゅうり等の新規就農者巡回が実施され、農家の経営状況や栽培技術面の課題等について聞き取り・指導が行われました。今後も関係機関が一体となり、就農希望者への支援と新規就農者へのフォローを継続していきます。



【新規就農者巡回の様子】

2) 第3回就農計画作成研修会を開催【全域】

19日に第3回就農計画作成研修会を開催しました。本研修会は、来年度児湯管内にて耕種部門（施設野菜など）で就農を予定している研修生などを対象に実施しており、就農予定者9名、関係機関5名が参加しました。今回は、就農計画作成支援ツールを実際に操作することをメインとした全3回あるうちの最後の集合研修会でした。受講者は、不明な点について質問をするなど、意欲を持って取り組んでいました。

今後、関係機関での個別支援などを行いながら、就農予定者自身で就農計画を作り上げていきます。



【研修会の様子】

3) さといも品種「大和39」の現地検討会を開催【全域】

11日にJAみやざき尾鈴地区本部と児湯普及センターで、県内のさといも産地の普及センターや農協担当者を参集し、県畑作園芸支場が選抜したさといも品種「大和39」について現地検討会を開催しました。検討会では大和39の生産振興方針や各地域での展示ほ試験の実施状況を協議しました。また、大和39のさといも分離機による分離程度の検証と食味評価も行いました。

今後も関係機関と連携しながらさといも産地の維持・発展に向け、新品種導入や機械化を含む栽培技術の普及・支援を進めていきます。



【検討会の様子】

4) ホウレンソウの定点調査を実施【全域】

加工用ホウレンソウの安定生産・計画出荷を目的に、定点ほ場を設定し、定期的に生育状況や病虫害の発生状況の調査を行っています。今年は、ハスモンヨトウによる食害で、播き直しを行った圃場が一部ありましたが、現在のところ生育は順調で、12月上旬から収穫が行われる予定です。

今後も集荷業者等と連携しながら、高位安定生産と計画生産を目指して引き続き支援に取り組んでいきます。



【定点調査の様子】

5) 児湯地区水田担い手ネットワーク研修会の開催【全域】

28日に高鍋町役場会議室で児湯地区の大規模水田経営体の生産者、関係機関合わせて63名が集まり、児湯地区水田担い手ネットワーク研修会が行われました。講師に（合）SJファームの瀬治山氏を招へいし講演いただきました。

今後、水田担い手の支援活動を活発にしていき、児湯地域の水田営農を支援していきます。



【研修会の様子】

6) とうがらし栽培講習会【西米良村】

19日に農家5名が参加してJA集出荷場で開催され、今作のふり返りと来作に向けた取組を生産者と共有しました。また、9月に視察でお世話になった球磨郡の生産者が1名参加され、村内の生産者と活発な意見交換がされました。



【講習会の様子】

7) 鹿児島で茶の視察研修を実施【川南町】

20日に尾鈴地区本部茶部会員、同地区の茶担当者、茶メーカーとともに、鹿児島県の（有）ヘンタ製茶を視察しました。

茶の今後の展望に関する意見交換を行い、工場見学では碾茶工場の説明を受けました。有機栽培や碾茶製造に関して多くの質問が出て、実りのある研修となりました。



【視察の様子】

8) 肉用牛繁殖部門基礎学修会の開催【全域】

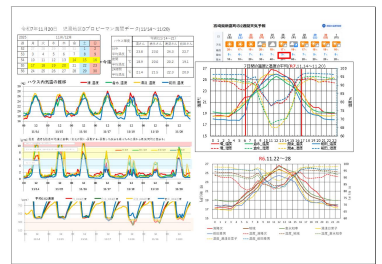
26日に児湯農業改良普及センター研修室で、肉用牛繁殖部門基礎学修会を開催しました。参加者は8名でした。講師に宮崎県畜産試験場肉用牛部の井上先生をお招きし、「繁殖雌牛の栄養度に合わせた飼養管理」と題して、栄養度の確認方法、各ステージにおける飼養管理方法の2つ内容を説明いただきました。次回は12月23日に開催予定です。



【学修会の様子】

9) JAみやざき児湯地区Dプロピーマン現地検討会【新富町】

26日に児湯地区ピーマン専門部のDプロ参加者の現地検討会を行い、生産者4名、関係機関2名が参加しました。直近1週間の4名の環境データおよび生育調査結果を比較した資料を見ながら、現地圃場の状態を確認し、意見交換を行いました。生産者の中には直近1週間の環境データおよび草勢や着花・着果を見ながら温度管理などの改善に取り組まれています。普及センターからは厳寒期の湿度管理に活用出来る環境データのチェックポイントを説明しました。引き続き、環境データや生育調査の結果を返却しながら、環境データを活用した栽培管理を支援していきます。



【毎週の週間レポートの一部】

10) JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会出荷打合せ会に参加【川南町・都農町】

19日に尾鈴地区本部いちご部会出荷打合せ会が開催されました。部会長挨拶では、今年は例年より11月時点での出荷戸数も少ないが、目標達成に向けて頑張りたいとの言葉がありました。参加した市場からは、厳しい状況であるが年内から少量でも出荷することで売り場の確保をしたい、との声がありました。

普及センターからは、いちごの栽培管理についての話と、炭そ病の発生状況等把握のためのアンケート調査を行いました。今後調査結果を分析し、次作の尾鈴地区の炭そ病低減のために活用する予定です。



【出荷打ち合せ会の様子】

2 その他の普及活動

1) 高鍋高校お茶入れ教室事前打ち合わせ【高鍋町】

19日に茶の生産者、関係機関、高鍋高校教職員で、12月2日に高鍋高校の生徒向けに行われる「お茶の魅力」講習会の事前打ち合わせを行いました。

当日のスケジュールや配置人数、動作確認などを行いました。今年から講習会で茶に関するDVD視聴も実施することとしました。

2) 極長稈ソルガムを用いた獣害対策の収穫完了【西都市】

27日に西都市内で極長稈ソルガムを用いた獣害対策の試験を実施して収穫が完了しました。当初はイノシシ対策を念頭とした試験でしたが、シカの食害にあったため、電気牧柵を用いたシカ対策の試験に変更しました。電気牧柵をしなかった圃場は、シカの食害により収穫できませんでしたが、電気牧柵を設置した圃場では、無事に収穫が完了しました。



【電気柵設置（左）、電気柵非設置（右）】※右で生えているのはカヤツリグサ

3) 尾鈴地区本部尾鈴稲作部会総会の開催【尾鈴地区】

26日に尾鈴地区本部尾鈴稲作部会の総会が行われました。今年度の尾鈴地区の水稻作付面積や主食用米・加工用米等の生産量などが報告されました。

4) 児湯地区営振協果樹部会視察研修【愛媛県】

5～6日に児湯地区営振協果樹部会で愛媛県への視察研修を行いました。視察先は八幡浜市の先進農家、宇和島市の就農トレーニングセンター「みかんの学校」、松山市の愛媛県農林水産研究所果樹研究センターの3カ所でカンキツの省力化栽培方法や承継対策、ブドウの未開花症対策としての土壌改良対策、キウイフルーツの花粉採取対策など幅広く先進技術を学ぶことができました。

また、研修成果はそれぞれ担当を定め28日に行われた技術員会で報告会を行いました。

産地に活かせる技術も多くあったため、技術員会で試行しながら、普及を図っていきます。



【八幡浜市先進農家との意見交換の様子】

III 参考

1 1 月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	16.1	18.2	15.9	4.5	31.0	37.1	48.9	41.9	55.9
中旬	13.5	18.0	13.9	35.0	18.0	36.6	48.1	48.2	54.0
下旬	11.7	11.3	12.1	0.5	13.0	25.7	85.9	64.1	52.8
月	13.8	15.8	14.0	40.0	62.0	99.4	182.9	154.2	162.7

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！



宮崎県 農林水産業ナビ
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

マフィン

農林水産業に関する

- ➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- ➡ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- ➡ 皆さまの思いや意見を集約！



ひなたMAFiN

検索

メルマガ登録はこちら